

J M T R 原子炉施設に係る廃止措置計画の一部補正

補正前	補正後	変更理由																
<p>※3：非常用電源により駆動する一次冷却設備の主循環ポンプ、緊急ポンプ及び二次冷却設備の補助ポンプ</p> <p>※4：給気設備、通常排気設備、照射実験用排気設備、非常用排気設備及び排気筒から構成する。</p> <p>※5：モニタリングポスト装置は、大洗研究所（北地区）の原子炉施設の共通施設であることから、廃止措置後に J M T R 原子炉施設としての許可は効力を失うが、他の原子炉施設の共通施設として引き続き使用するので解体対象施設としない。</p>	<p>※3：<u>解体対象施設として、カナルNo. 3を含む。</u></p> <p>※4：非常用電源により駆動する一次冷却設備の主循環ポンプ、緊急ポンプ及び二次冷却設備の補助ポンプ</p> <p>※5：給気設備、通常排気設備、照射実験用排気設備、非常用排気設備及び排気筒から構成する。</p> <p>※6：<u>建物は解体しないため、設備の解体はしない。</u></p> <p>※7：モニタリングポスト装置は、大洗研究所（北地区）の原子炉施設の共通施設であることから、廃止措置後に J M T R 原子炉施設としての許可は効力を失うが、他の原子炉施設の共通施設として引き続き使用するので解体対象施設としない。</p> <p>表 5-2 <u>J M T R 原子炉施設に残存している照射済みの容器と照射済みの試料の保管場所及び数量（令和 2 年 12 月時点）</u></p> <table border="1" data-bbox="1457 877 2410 1157"> <thead> <tr> <th>保管場所</th> <th>数量</th> <th>照射試料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉容器</td> <td>1 本</td> <td>材料試料</td> </tr> <tr> <td>炉プール</td> <td>1 本</td> <td>材料試料</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">カナル</td> <td>5 本</td> <td>燃料試料^{※2}</td> </tr> <tr> <td>19 本</td> <td>材料試料</td> </tr> <tr> <td>15 本^{※1}</td> <td>—^{※3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：<u>照射していない容器 2 本を含む。</u></p> <p>※2：<u>使用施設の燃料試料</u></p> <p>※3：<u>照射試料は容器から取り外し済み。</u></p>	保管場所	数量	照射試料	原子炉容器	1 本	材料試料	炉プール	1 本	材料試料	カナル	5 本	燃料試料 ^{※2}	19 本	材料試料	15 本 ^{※1}	— ^{※3}	<p>・注釈の追加</p> <p>・注釈番号の変更</p> <p>・照射済みの容器と試料の保管場所及び数量について追加</p>
保管場所	数量	照射試料																
原子炉容器	1 本	材料試料																
炉プール	1 本	材料試料																
カナル	5 本	燃料試料 ^{※2}																
	19 本	材料試料																
	15 本 ^{※1}	— ^{※3}																

J M T R 原子炉施設に係る廃止措置計画の一部補正

補正前	補正後	変更理由																								
<p>六 核燃料物質の管理及び譲渡し</p> <p>1. 核燃料物質の存在場所ごとの種類及び数量 核燃料物質の貯蔵場所ごとの種類及び数量を表6-1に示す。</p> <p>2. 核燃料物質の管理 使用済燃料は、J M T R 原子炉施設から搬出するまでの期間、カナル及びS F C プールで貯蔵し、原子炉運転段階と同様の管理を行う。</p> <p>新燃料要素及びJ M T R C^{※1} で使用した燃料は、J M T R 原子炉施設から搬出するまでの期間、燃料管理室内の新燃料貯蔵設備に貯蔵し、原子炉運転段階と同様の管理を行う。</p> <p>3. 核燃料物質の譲渡し 使用済燃料及びJ M T R C で使用した燃料は、輸送容器に収納し、計画的に米国エネルギー省に譲り渡す。 新燃料要素については、国内外の許可を有する事業者に譲り渡す。 使用済燃料及び新燃料要素の譲渡は、関係法令を遵守して実施していく。</p> <p style="text-align: center;">表6-1 核燃料物質の貯蔵場所ごとの種類及び数量</p> <table border="1" data-bbox="225 1371 1285 1640"> <thead> <tr> <th>貯蔵場所</th> <th>種別</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カナル</td> <td>使用済燃料</td> <td>507 体</td> </tr> <tr> <td>燃料管理室</td> <td>新燃料要素</td> <td>214 体^{※2}</td> </tr> <tr> <td>燃料管理室</td> <td>J M T R C で使用した燃料</td> <td>32 体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：J M T R の運転に関する安全性を確保するため核的モックアップ実験等を行った、出力100Wのプール型臨界実験装置であり、廃止が完了している。廃止に伴い、J M T R C で使用した燃料はJ M T R 原子炉施設に引き渡している。</p>	貯蔵場所	種別	数量	カナル	使用済燃料	507 体	燃料管理室	新燃料要素	214 体 ^{※2}	燃料管理室	J M T R C で使用した燃料	32 体	<p>八 核燃料物質の管理及び譲渡し</p> <p>1. 核燃料物質の存在場所ごとの種類及び数量 核燃料物質の貯蔵場所ごとの種類及び数量(令和2年12月時点)を表8-1に示す。</p> <p>2. 核燃料物質の管理 使用済燃料は、J M T R 原子炉施設から搬出するまでの期間、カナル及びS F C プール内の使用済燃料ラックに貯蔵し、原子炉運転段階と同様の管理を行う。また、J M T R C^{※1} で使用した燃料は、J M T R 原子炉施設から搬出するまでの期間、燃料管理室内の新燃料貯蔵ラックに貯蔵し、原子炉運転段階と同様の管理を行う。</p> <p>新燃料要素は、J M T R 原子炉施設から搬出するまでの期間、燃料管理室内の新燃料貯蔵ラックに貯蔵し、原子炉運転段階と同様の管理を行う。</p> <p>3. 核燃料物質の譲渡し 使用済燃料及びJ M T R C で使用した燃料は、輸送容器に収納し、計画的に米国エネルギー省に譲り渡す。 新燃料要素については、国内の許可を有する事業者又はわが国と原子力の平和利用に関する協力のための協定を締結している国に譲り渡す。 使用済燃料及び新燃料要素の搬出及び輸送は、関係法令を遵守して実施していく。</p> <p style="text-align: center;">表8-1 核燃料物質の貯蔵場所ごとの種類及び数量(令和2年12月時点)</p> <table border="1" data-bbox="1374 1371 2433 1640"> <thead> <tr> <th>貯蔵場所</th> <th>種類</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カナルNo. 2</td> <td>使用済燃料</td> <td>507 体</td> </tr> <tr> <td>燃料管理室</td> <td>J M T R C で使用した燃料 (使用済燃料)</td> <td>32 体</td> </tr> <tr> <td>燃料管理室</td> <td>新燃料要素</td> <td>214 体^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：J M T R の運転に関する安全性を確保するため核的モックアップ実験等を行った、出力100Wのプール型臨界実験装置であり、廃止が完了している。廃止に伴い、J M T R C で使用した燃料はJ M T R 原子炉施設に引き渡している。</p>	貯蔵場所	種類	数量	カナルNo. 2	使用済燃料	507 体	燃料管理室	J M T R C で使用した燃料 (使用済燃料)	32 体	燃料管理室	新燃料要素	214 体 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の見直し ・記載の適正化 ・JMTRC で使用した燃料の種類を明確化 ・記載の適正化 ・記載の適正化 ・搬出及び輸送は関係法令に基づくことを記載 ・表現の見直し ・記載の適正化 ・表現の見直し ・JMTRC で使用した燃料の種類を明確化 ・順番の入れ替え
貯蔵場所	種別	数量																								
カナル	使用済燃料	507 体																								
燃料管理室	新燃料要素	214 体 ^{※2}																								
燃料管理室	J M T R C で使用した燃料	32 体																								
貯蔵場所	種類	数量																								
カナルNo. 2	使用済燃料	507 体																								
燃料管理室	J M T R C で使用した燃料 (使用済燃料)	32 体																								
燃料管理室	新燃料要素	214 体 ^{※2}																								